

四国がんセンター
チャイルドケアプロジェクト

お子さんがいらっしゃる患者さんが
安心して療養生活を
送ることができるように
ご家族全体のサポートを考える
プロジェクトです



Shikoku
Cancer Center

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター
がん相談支援・情報センター
〒791-0820 愛媛県松山市南梅本町甲160
TEL:089-999-1114 FAX:089-999-1115

より安心して生活を送るために…

お子さんがいらっしゃる
患者さん・ご家族へ



独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター
チャイルドケアプロジェクト

お子さんがいらっしゃる患者さんへ



Child Care
Project

「お母さん、大丈夫かな」「お父さん、元気になるよね」

がんの治療はそれだけでも大きなストレスとなりますが、患者さんに子どもがいらっしゃる場合、その負担はより大きくなるといわれています。

また、子どもにとっても親の病気は大きな出来事です。子どもは、たとえ病気のことを聞かされていなくても、普段とは違った家族の様子に気づいているといわれます。

子どものストレス反応は、年齢、性格、環境などによってはさまざまですが、周囲のサポートを得ながら、子どもはその困難を乗り越えて行く力を持っています。

当院では、患者さんができるだけ安心して療養生活を送ることができるように、それぞれのご家庭の状況に応じ、お子さんも視野に入れたご家族全体の支援をおこなっていきます。



何をするの？

①大人（患者さん・ご家族）の方々へ

子どもに関する様々なご相談に対応します。子どもへの関わり方、気になる言動など、丁寧に話を伺いながら、最善の支援体制と一緒に考えます。状況によっては、教育機関や小児医療、福祉施設との連携も視野に入れてサポートします。

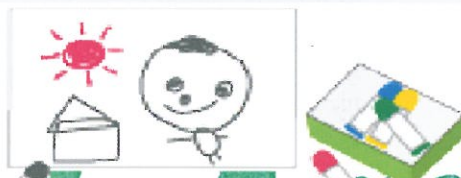


何をするの？

②お子さんへ

遊びや会話を通して、子どもの考えや感じていることを引き出し、受け止めます。その上で、年齢に応じた病気の説明やストレスマネジメントなどの心理教育をおこないます。

また、院内探検などを通して、病気に対する怖さを取り除き、子どもの持つ社会的な学習意欲を大切にします。



誰に言えばいいの？

がん相談支援・情報センター、または、病棟スタッフにお声かけください。子どもの心理、行動に詳しい臨床心理士などが対応します。

